

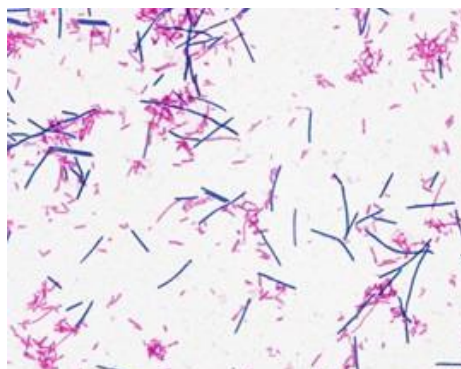
8 感染症学

8.1 細菌学

【細菌の構造】

・単細胞で[ ]を持たない=[ ]  
※[ ]は持っているが、ミトコンドリアなどの細胞小器官は持たない

・[ ]の構造の違いで染色する  
⇒[ ]染色 陽性:[ ]色  
陰性:[ ]色

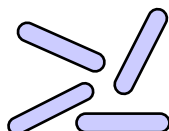
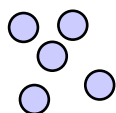


・形状による分類

[ ]:

[ ]:

[ ]:



・微生物の大きさの比較



・細菌が増殖できる条件⇒[ ], [ ], [ ], [ ]※

※増殖に酸素が必要・・・[ ]

酸素存在下では生育できない・・・[ ]

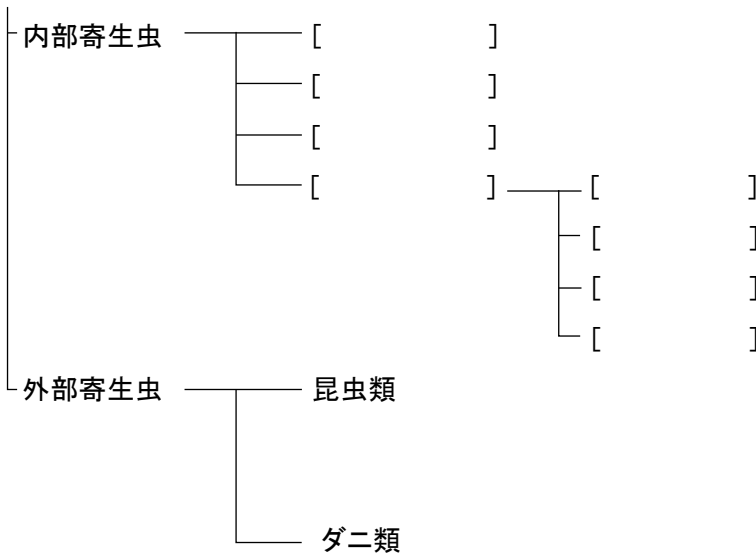
8 感染症学

8.2 ウイルス学

【ウイルスの構造】

- ・エンベロープを持たないウイルスの例・・・
- ・DNAウイルスの例・・・

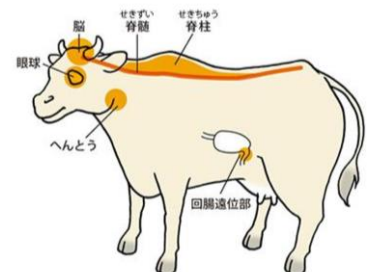
8.3 寄生虫学（※詳細は別紙）



8.4 真菌・・・一般的には[ ], [ ], [ ]など  
⇒核を持つ[ ]

有効な抗真菌薬:[ ], [ ], [ ]など

8.5 プリオン(異常プリオン)⇒[ ], [ ], [ ]など



8 感染症学

8.6 感染症の成立する条件

- ① [ ]      ② [ ]      ③ [ ]

どれか1つでも欠けると感染は成立しない！！

※[ ]…感染して症状が出る

[ ]…感染しているが症状が出ない

●感染経路



・感染経路における対策

微生物により人(動物)の健康が損なわれる=[ ]



意図せず病検体に暴露されないように[ ]という考え方あり

BSL1~4まで分類し、取り扱える病原体が定められる

【重要】院内での感染対策

- ①[ ]…感染の有無にかかわらずすべての動物のケアに対して行う感染対策  
⇒個人防護



すべての体液、排泄物、粘膜などには感染の可能性があるという考え方の下

- ②[ ]…施設内を清浄度により分ける

区域名	区域の色	代表的な該当室の例
清潔区域	青系統	手術室等
通常医療区域	緑系統	一般病室・診察室等
一般区域	黄色系統	待合・廊下・医局・事務室等
汚染拡散防止区域	赤系統	トイレ・汚物処理室等

## 8 感染症学

### 8.6 感染症の成立する条件

#### 【重要】院内での感染対策

③ [ ]…すべての微生物を殺滅すること

⇒



④ [ ]…有害な微生物の病原性(感染性)を減らす

#### 1) 低水準消毒液

① [ ] → 逆性石けんの1つ

・ [ ] の手指の手洗いに使用する, [ ] にも使用出来る

・ [ ] の消毒にも用いる

② [ ]

・ [ ] の手指の手洗いに使用する ※ [ ] への使用は禁忌

#### 2) 中水準消毒液

① [ ]

・ [ ] や [ ] に使用する → 生体消毒として一般的に用いる

・ 色がつくため環境中への消毒は適さない

② [ ]

・ 中水準で有りながら [ ] ウイルスに有効; [ ]

・ [ ] の存在下で効力が落ちる

・ [ ] や [ ] の腐食性あり

③ [ ]

・ アルコール類の消毒液で [ ] で [ ] がある

・ [ ] ウイルスや [ ] には無効である

④ フェノールやクレゾール石けん

・ 毒性が強く生体には用いない, 排水に関しては基準が存在する

#### 3) 高水準消毒液

① [ ]

・ [ ] ウイルスや [ ] に有効な消毒液

8 感染症学

8.7 感染症の検査

(1)形態学的検査・・・細菌の場合は[ ]が重要 ※細菌の[ ]の構造の違い

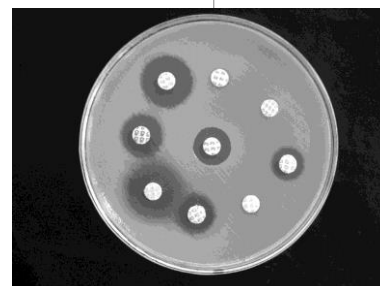
⇒ 陽性:

陰性:

(2)細菌培養検査

⇒細菌を培養し、形態や生化学的な検査を実施

また、[ ]を実施し、有効な抗生物質を調べる検査



(3)真菌培養検査 ⇒ [ ]培地により培養する

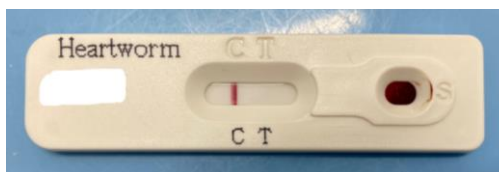


(4)[ ](ポリメラーゼ連鎖反応)

(5)[ ](酵素抗体法)

この方法を利用した検査キット⇒

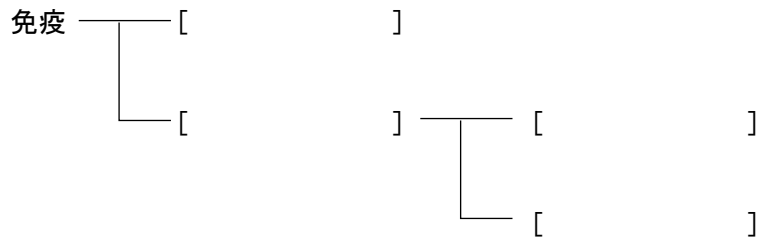
[ ]法



8 感染症学

8.8 免疫学

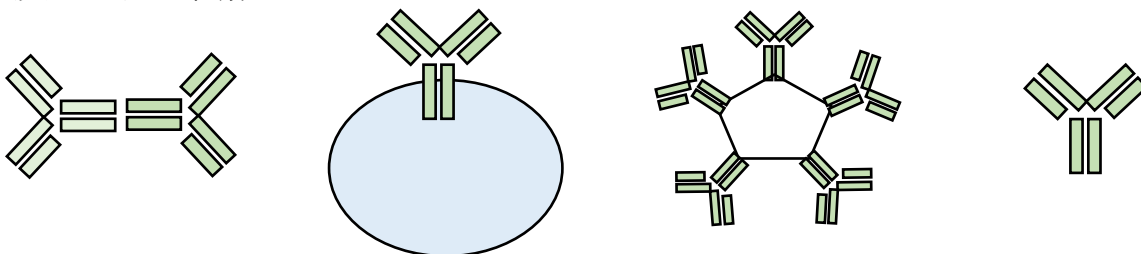
(1) 基本的な知識



★免疫に関係する因子

- [ ] …細胞間の情報伝達
- ⇒
- [ ] …炎症細胞を集める
  - 補体 …マクロファージ、抗体の働きを援ける

免疫グロブリンの種類



8 感染症学

8.8 免疫学

(2) ワクチン⇒大きく[ ]と[ ]がある

◎生ワクチンの特徴

◎不活化ワクチンの特徴

★コアワクチン…すべての犬猫に接種することを推奨するワクチン

【犬】

【猫】

※ワクチネーションについて

・初年度ワクチンは母親から初乳を介して受け取る[ ]があるため数回接種

⇒12~16週齢で活性が消失…4週齢以降に最終ワクチンを打つ

・猫の注射部位関連肉腫

・[ ]( 型アレルギー)

⇒ワクチンに対する過敏反応

⇒抗ヒスタミン剤やアドレナリン、ステロイド剤などを投与する

(3) アレルギーの分類

アレルギーの分類	機序	疾患の例
I型アレルギー	[ ]の表面に発現するIg に抗原が結合すると脱顆粒により反応が起こる	
II型アレルギー	自分の細胞や組織に対して抗体が産生されその攻撃により起こる反応	
III型アレルギー	抗原と抗体の結合したもの(抗原抗体複合体)により組織障害が起こる	
IV型アレルギー	細胞性免疫が関与する	